

2018,12,9

## 油日岳トレッキング記録

お天気は曇り。霜柱があちこちにあり、風も冷たく、「冬の山ね。」など言いながら、油日岳トレッキングに挑戦。小さな山でしたが、とても急な登り・急な下りがあり、ひやひやハラハラする所が何か所もあり、一步一步慎重に歩を進めた。なかなか変化に富んだ良い山だが、緊張の連続でした。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

### ◆歴史 「甲賀の総社」油日神社の由来

油日神社は、南鈴鹿の霊峰油日岳の麓に鎮座し、明治時代までは「油日大明神」と称しました。「日本三大実録」によれば、平安時代の元慶（がんきょう）元年（877）に、「油日神」が従 5 位下を授かっており、これ以前から存在することがわかる古社です。古くは、油日岳を神体山とされ、山頂には今も岳明神がまつられます。

### ◆トレッキングの様子



炭焼き窯

急な登り



シモバシラ



油日岳山頂

油日岳山頂で記念撮影



加茂岳



忍者岳





倉部山